

参考資料2  
予備調査結果

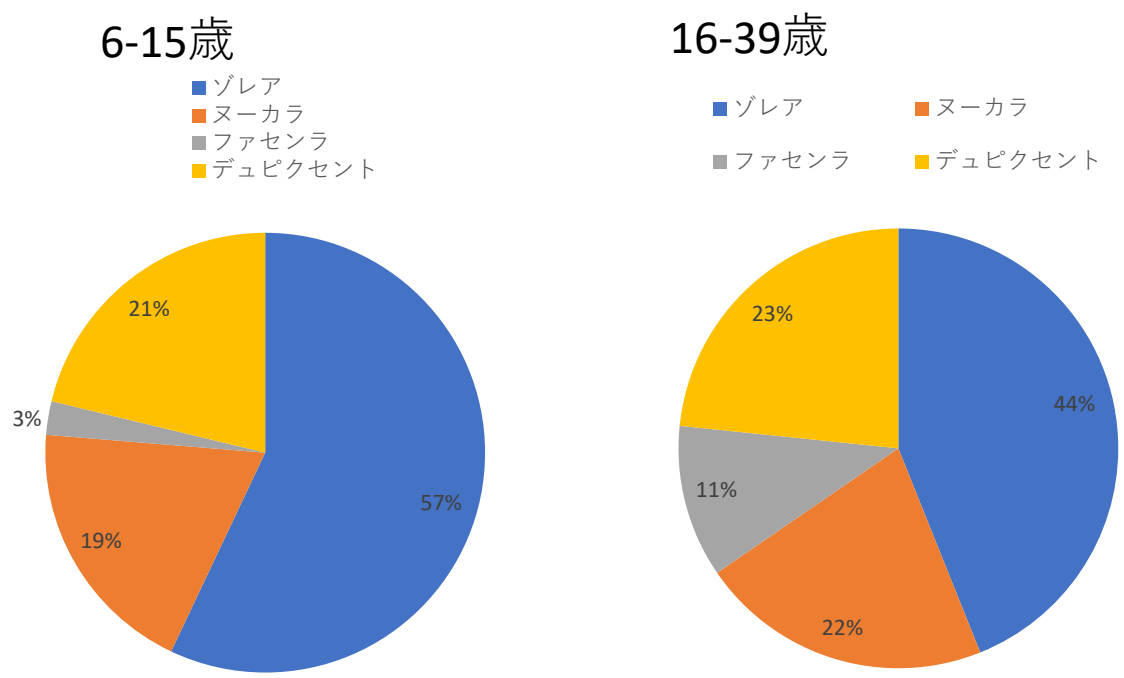


図1 現在使用中の生物学的製剤の種類 (日本小児アレルギー学会)

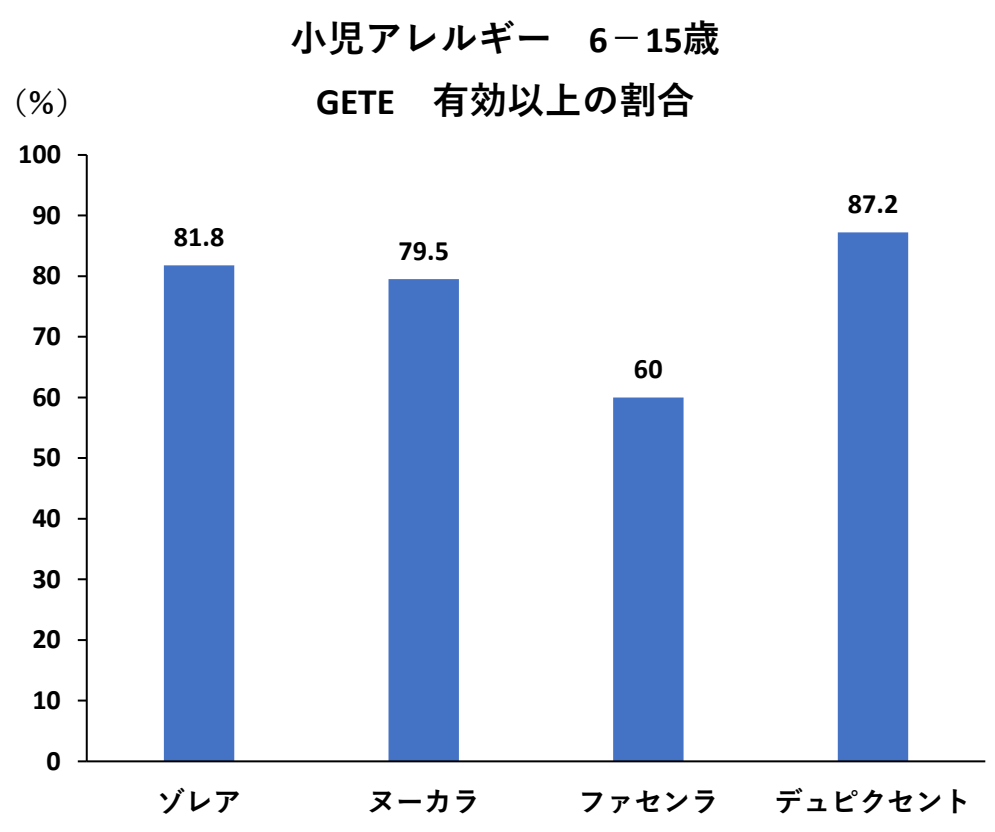


図2 6-15歳 製剤別のGETE 有効以上の割合 (日本小児アレルギー学会)

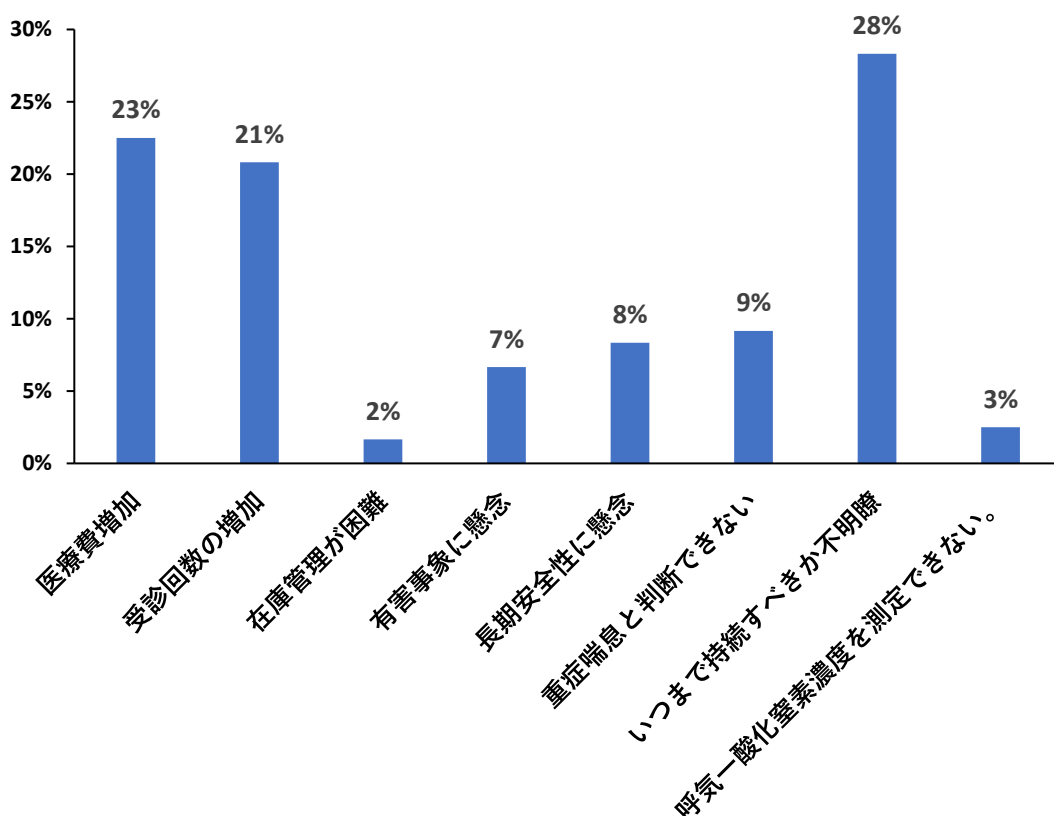


図3 6-15歳で生物学的製剤の使用をためらう理由

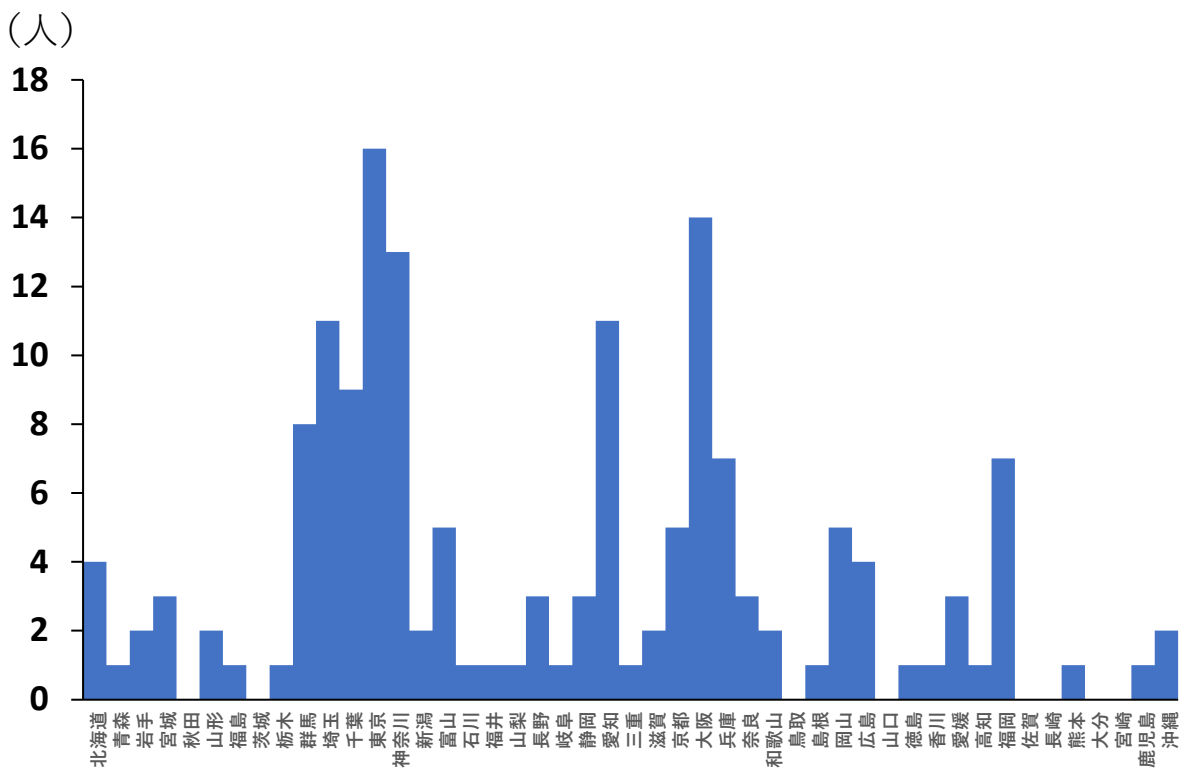


図4 小児アレルギー学会 都道府県別回答数

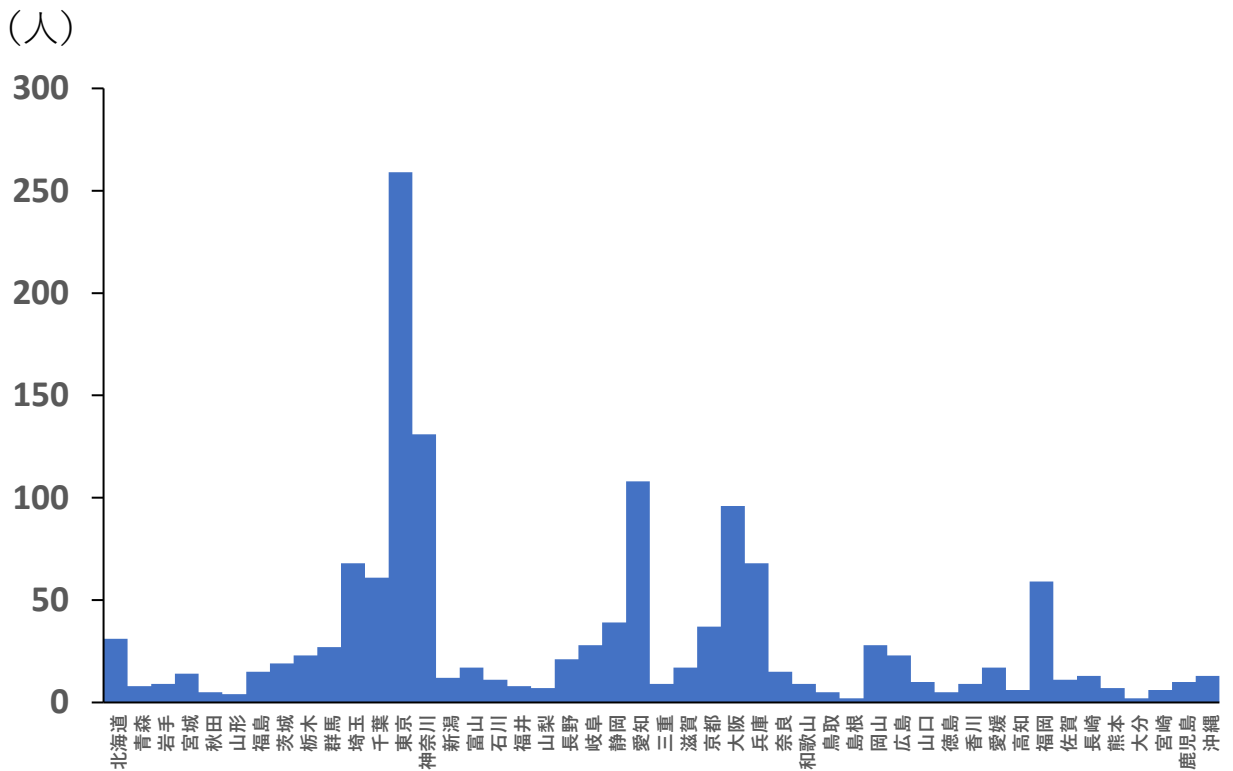


図5 小児科標榜 アレルギー専門医数 都道府県別

(人／小児10万人)

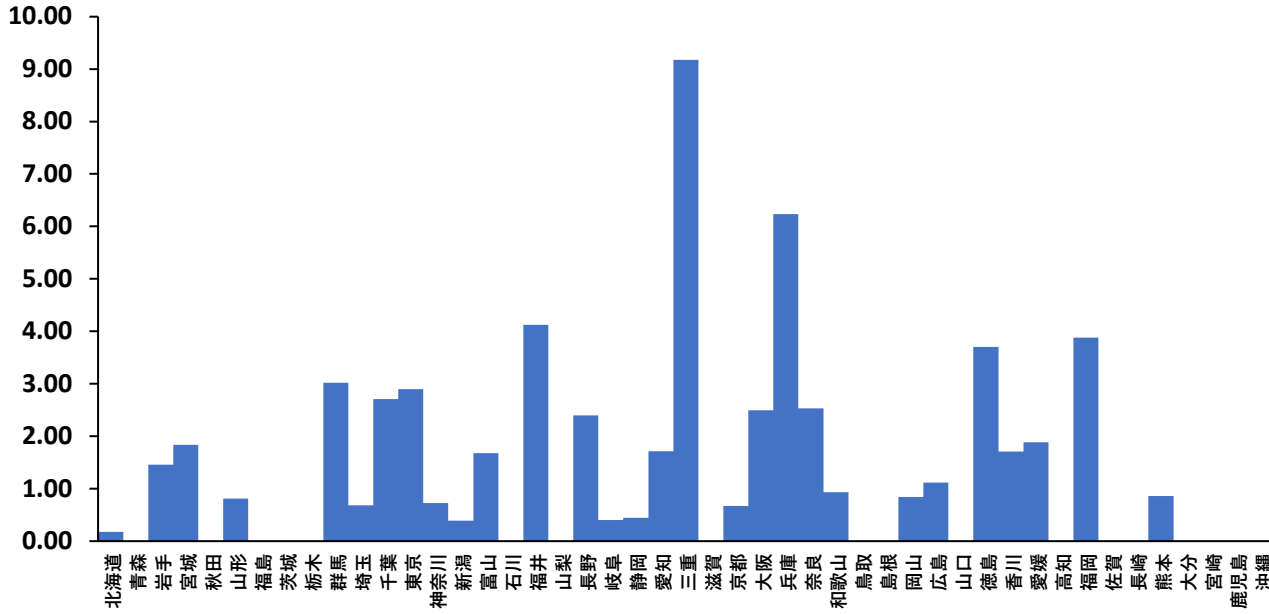


図6 小児人口10万人あたり生物学的製剤使用人数

6-15歳

16-39歳

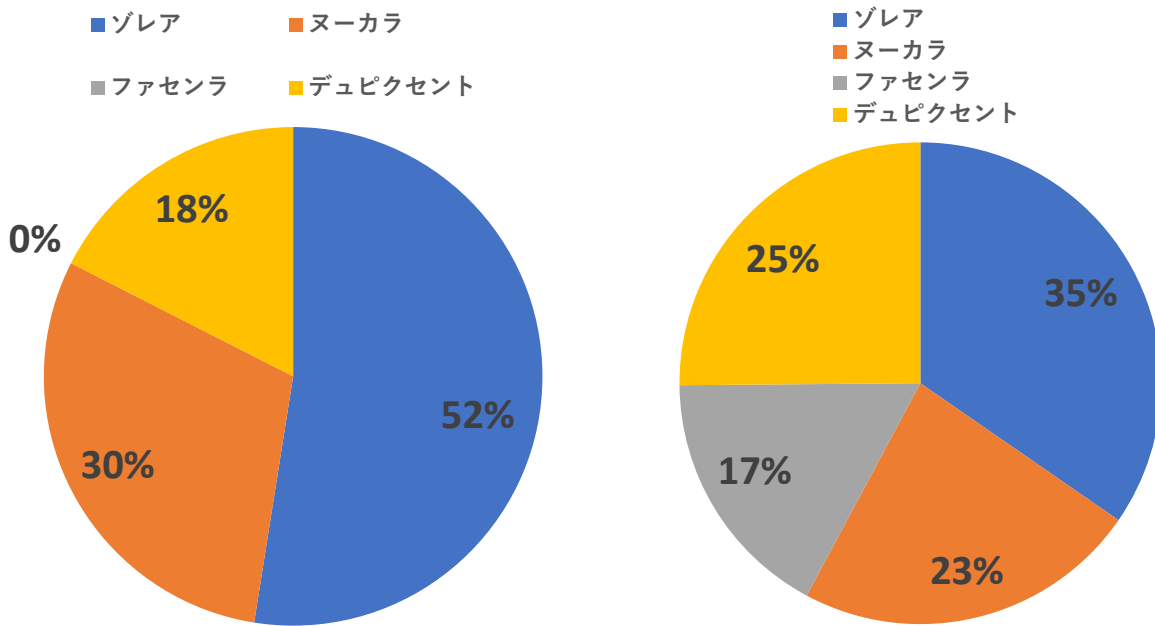


図7 現在使用中の生物学的製剤の種類 (日本呼吸器学会)

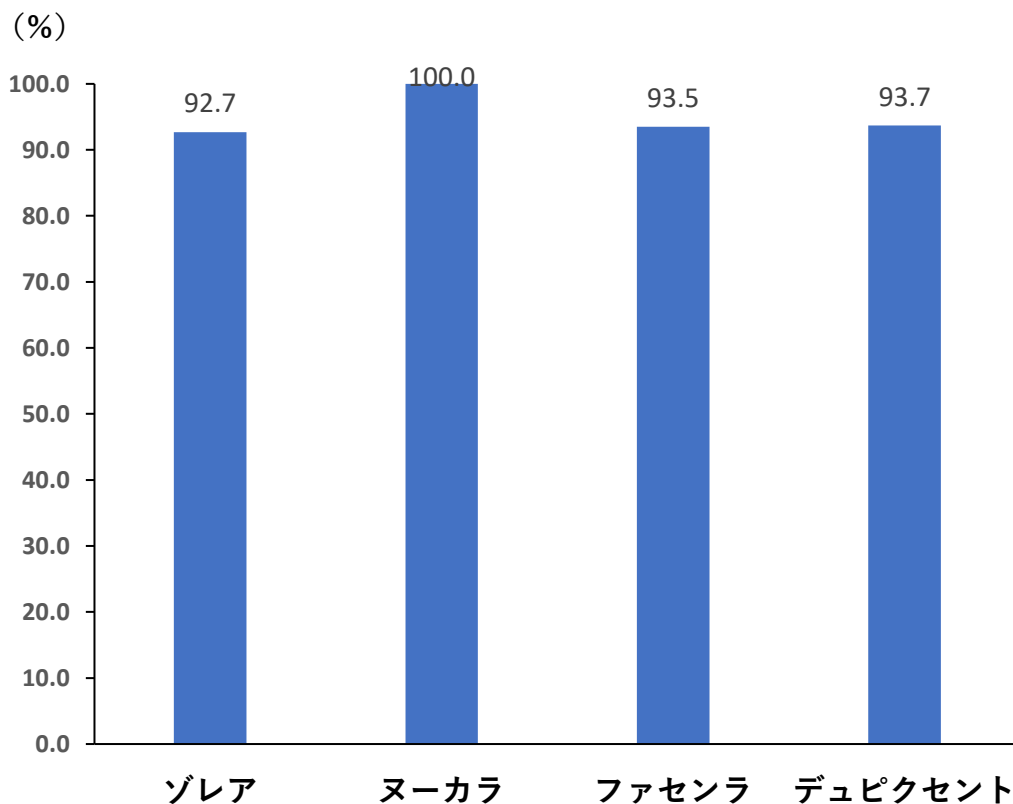


図8 呼吸器学会 16-39歳 GETE 有効以上の割合 (日本呼吸器学会)

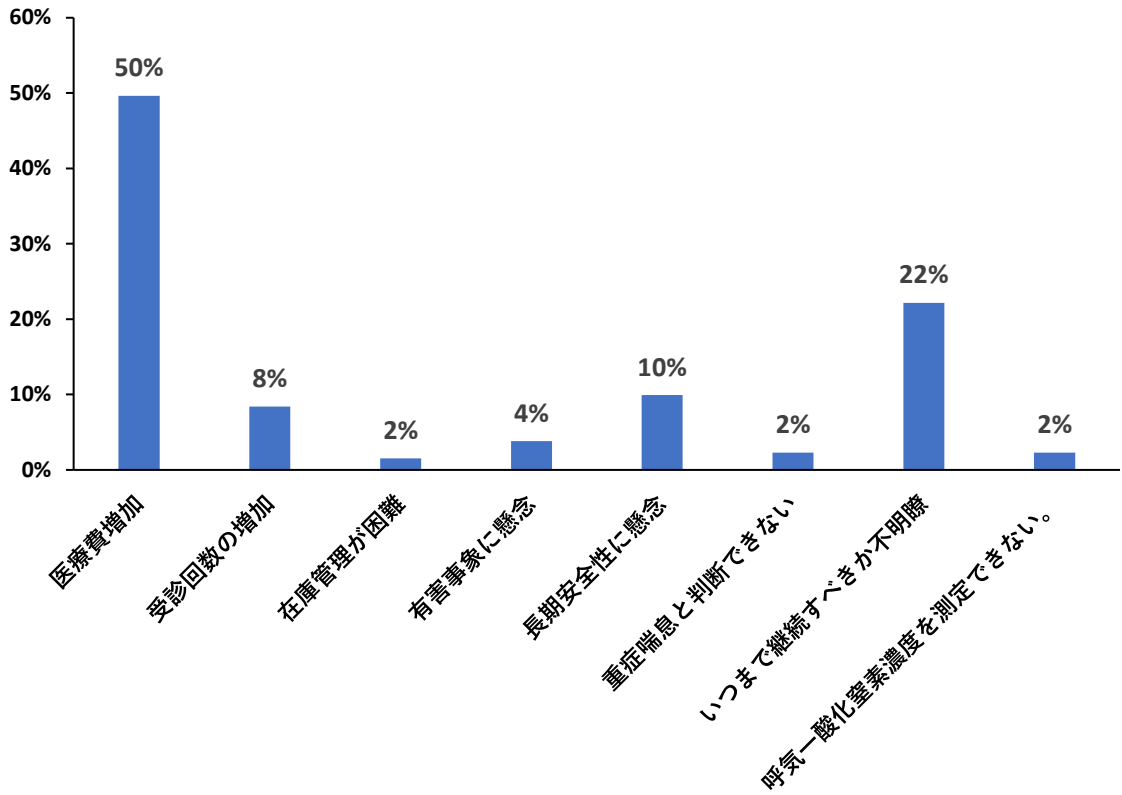


図9 16-39歳で生物学的製剤の使用をためらう理由  
(日本呼吸器学会)